

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
神奈川県逗子市
【転出元】
神奈川県逗子市
【前職】
プログラマー
【活動時期】
R3.10～R6.9

協力隊に応募したきっかけ

前職では約2年間、Web・ITサービスの分野でサービス開発やプログラマーなどの業務をしておりました。プログラマーとして歩む上で、自分に足りないものや時代の変化に対応するためにどうすればいいか思案していたところ、大学時代から関心のあったファブラボの地域おこし協力隊募集を見かけすぐさま応募。熱心に担当者へ想いを伝えて着任することとなりました。

今後の抱負・任期後の目標

現在は「地域課題プロジェクト」として、町民の困りごとをデジタルアプリケーションの文脈から解決しようと試みています。自分は現場を後方から支援する「椅子の男」と呼ばれるポジションに憧れを持っていて、幼少の頃から家族や周りに支えられていたこと也有って、今度は自分がそうなりたいなと思っています。自分はあくまで裏の人としてスキルを活かし栗山で活動する人を支えられる人になりたいです。他者から要求される課題について「(IoT分野では特に)何でも作れる」スキルを習得して活動したいです。

活動内容

●自動分別機「AIソーター」の制作

地域課題調査で、栗山町はごみの分別種類が多いため、リサイクルセンターの作業員の方がごみを人力で再分別していました。その課題解決のため、カメラで画像認識したものを事前に学習させたAIによって仕分けをする「AIソーター」を制作しました。ゴミの分別の他、ペットボトルキャップの色分けや野菜の規格分けに使用できるよう考えました。



●安全操作講習インストラクター

ファブラボ栗山内の工作設備の使い方と、安全に利用するためのルールをお伝えする安全操作講習のインストラクターをしています。レーザー加工機、3Dプリンターの講師をしております。



●地域課題プロジェクト「地縁技融」

ものづくりで栗山町の課題を解決するためのオープンプロジェクトです。地域の人々や資源等とデジタル技術とを融合して新たな価値や創造性を生み出せるよう活動しています。その第1弾として町内在住の電子音楽ユニット「木箱」とコラボし、『フレキシトーン』という電子楽器を制作しました。町内の農家さんと連携して、ビニールハウスでも使用できるIoTデバイスも開発しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) info@fablabkuriyama.jp (電話番号) 0123-76-7787

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram)  (Facebook) 